

目標達成計画

作成日:平成25年1月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	法人全体での活動により、グループホームの存在のアピールはできていて、その上での地域との相互関係は築けているが、存在意義や認知症を理解してもらうための活動としてはまだ不十分である。	ホームでの生活を知ってもらい、地域で普通の暮らしを送っている事を知ってもらえる。	1、健老会との定期的な交流 2、小中学校との交流 ・スクールゾーンの立しよう協力 ・学校訪問 3、ミニ喫茶の際に地域の方を招待 4、地域の方に、キーマンになって頂く	12ヶ月
2	26	定期的にカンファレンスを開催しているが、検討事項の計画書への反映が不十分である。	反映できる仕組みの構築ができる。	1、カンファレンス後は速やかに担当者会議を開く。 2、計画書はグループで作成 3、きちんと反映できているかどうか、次回のカンファレンスにて承認を得る	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。